

風水害に備えよう

近年、せまい範囲で起きた大雨や強風による被害のニュースをよく耳にする。大雨や突風などに関する知識を深め、気象情報を正しく理解して、もしものときにも落ち着いた行動がとれるように心掛けよう。

1 「注意報」「警報」「特別警報」

「注意報」とは、雨や風などの気象要素によって災害が起こるおそれがあるときに発表され、「警報」とは、注意報を超えて重大な災害が起こるおそれがあるときに発表される予報である。これらに加え、2013年からは、数十年に一度の大雨、数十年に一度の強さの台風や温帯低気圧による大雨や暴風など、警報の発表基準をはるかに超える現象が予想される場合に発表される「特別警報」が設定された。天気は地域や地形によって変化するため、注意報や警報が出される基準の値もその地域の気象の特性、災害の特性、地理的な特性によって細かく定められている。仙台管区気象台の発表基準を見てみよう。

主な注意報・警報の発表基準 仙台市（抜粋）		仙台市西部		仙台市東部		
注意報	大雨	雨量基準	平地 1時間雨量 30mm 平地以外 1時間雨量 40mm	平地 3時間雨量 50mm 平地以外 1時間雨量 30mm		
	洪水	雨量基準	平地 1時間雨量 30mm 平地以外 1時間雨量 40mm	平地 3時間雨量 50mm 平地以外 1時間雨量 30mm		
	強風	平均風速	13m/s		陸上 13m/s 海上 13m/s	
	風雪	平均風速	13m/s 雪を伴う		陸上 13m/s 雪を伴う 海上 13m/s 雪を伴う	
	大雪	降雪の深さ	平地 12時間降雪の深さ 15cm 山沿い 12時間降雪の深さ 20cm	12時間降雪の深さ 10cm		
	波浪	有義波高			3.0m	
	高潮	潮位			0.9m	
	雷	落雷等により被害が予想される場合				
	融雪	融雪により被害が予想される場合				
	濃霧	視程	100m		陸上 100m 海上 500m	
警報	なだれ	①山沿いで24時間降雪の深さ40cm以上 ②積雪が50cm以上で、日平均気温5℃以上の日が継続				
	大雨	雨量基準	平地 1時間雨量 45mm 平地以外 1時間雨量 50mm	平地 3時間雨量 80mm 平地以外 1時間雨量 45mm		
	洪水	雨量基準	平地 1時間雨量 45mm 平地以外 1時間雨量 50mm	平地 3時間雨量 80mm 平地以外 1時間雨量 45mm		
	暴風	平均風速	18m/s		陸上 18m/s 海上 18m/s	
	暴風雪	平均風速	18m/s 雪を伴う		陸上 18m/s 雪を伴う 海上 18m/s 雪を伴う	
	大雪	降雪の深さ	平地 12時間降雪の深さ 25cm 山沿い 12時間降雪の深さ 30cm	12時間降雪の深さ 20cm		
	波浪	有義波高			6.0m	
	高潮	潮位			1.6m	
	記録的短時間大雨情報		1時間雨量 100mm			

平成22年5月27日現在 発表官署 仙台管区気象台

特別警報に相当する事例		
気象等	H24.7 九州北部豪雨(大雨) H23 台風第12号(大雨) S34 伊勢湾台風(大雨・暴風・波浪・高潮) S9 室戸台風(大雨・暴風・高潮・波浪)	死者行方不明者32人 死者行方不明者98人 死者行方不明者5,000人以上 死者行方不明者3,000人以上
津波	H23.3 東北地方太平洋沖地震 H5.7 北海道南西沖地震 S58.5 日本海中部地震	死者行方不明者18,000人以上 死者行方不明者230人 死者104人 (いずれも地震を含む)
火山	H12 三宅島 H12 有珠山 H3 雲仙岳	全島民避難 15,000人以上避難 死者行方不明者43人
地震	H23.3 東北地方太平洋沖地震 H20.6 岩手・宮城内陸地震 H19.7 新潟県中越沖地震 H16.10 新潟県中越地震 H7.1 兵庫県南部地震	死者行方不明者18,000人以上 (津波を含む) 死者行方不明者23人 死者15人 死者68人 死者行方不明者6,437人



1986年8月5日豪雨による冠水（青葉区）

2 急な大雨・竜巻・雷

発達した積乱雲の下では、急な大雨や雷、竜巻などの激しい突風が発生する。積乱雲に伴う大雨は短時間に集中して降るため、たとえ総雨量が少なくても、周囲からの水が一気に集まる川や低地、建物の地下などでは大きな被害につながる危険がある。

また、仙台管区気象台では、竜巻の発生する可能性を推定し、注意を呼び掛ける竜巻注意情報を発表している。竜巻は一般に、積乱雲をつくる上昇気流の強さや温度差、地表付近と上空との風向きの違いや地形など、多くの要因が複雑に重なり合って局所的に発生し、短時間で消滅するため、その予測や観測は大変難しい。

積乱雲に伴って発生するこのような災害から身を守るためには、天気の変化によりどのような場所で事故や災害が起きやすいかをイメージすること、報道される気象情報を正しく理解する知識が必要である。また、積乱雲が近づく兆しを感じたら、危険な場所から離れる、丈夫な建物に避難することなどが大切である。

急な大雨	落雷	竜巻
<p>河川敷でのレジャーやスポーツ 川での釣りや水遊び</p> <p>危険を回避するには…</p> <p>雨が降り始めたり、空や川に異変を感じたらすぐに水辺から離れる！</p> <ul style="list-style-type: none"> 上流に降った雨で、急に増水することがある。 ダムでの放流サイレン音に注意する。 <p>浸水した場所に注意！</p> <ul style="list-style-type: none"> 側溝やマンホールなどが見えない場所がある。 地下通路などの低地の通行には注意する。 	<p>野外のスポーツ 公園や海、山のレジャー</p> <p>雷から身を守るには…</p> <p>雷が聞こえたらすぐに避難！</p> <ul style="list-style-type: none"> 雷鳴が遠くても、雷雲はすぐに近づいて来る。 屋外にいる人は安全な場所に移動する。 <p>建物の中や自動車へ避難！</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物の中や自動車などへ避難。 ★雨宿りのために木の下に入るのは危険！！ <p>木や電柱から4m以上離れる！</p> <ul style="list-style-type: none"> 側撃雷の恐れがあるため木の側は危険。 近くに避難場所がないときは、姿勢を低く。 	<p>建物や樹木の倒壊 看板やテントなどの飛散</p> <p>竜巻から身を守るには…</p> <p>頑丈な建物の中へ避難！</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難時には瓦などの飛来物に注意する。 頑丈な建物がなければ、くぼ地に身を伏せる。 ★プレハブなど仮設建築物への避難は危険！！ <p>屋内でも窓や壁から離れる！</p> <ul style="list-style-type: none"> 家の中心に近い窓のない部屋に移動する。 窓や雨戸を閉め、カーテンを引く。 頑丈な机などの下に入り、頭と首を守る。